



前立腺がんが心配ですか？

PCA3は前立腺生検が必要かどうかを決定する助けとなる尿検査です

前立腺がんについて

- ▶ 前立腺がんは男性において頻繁に診断されるがんの一つです
- ▶ 一部の前立腺がんのみが非常に進行が速く、早期段階で診断された場合は適切な治療により抑制可能です
- ▶ 早期段階では、前立腺がんのある大半の男性は症状を感じません。したがって、前立腺がんの心配があれば、早期段階で診断できる検査について医師に聞くとよいでしょう

早期段階で前立腺がんを診断できる検査とは？

- ▶ 直腸指診(DRE)は前立腺を検査するために用いられます。医師は、前立腺の大きさ、異常を検査するため直腸に指を挿入します
- ▶ 前立腺特異抗原(PSA)とは、前立腺細胞により通常生成される蛋白質です。前立腺がん、前立腺腫大、前立腺感染(前立腺炎)のように、前立腺に異常がある場合、血液中のPSA値は上昇します。PSA値は腕から採取した少量の血液を用いて計測します
- ▶ DREもしくはPSA値に異常がある場合、前立腺生検が実施されます。生検は前立腺がんを罹患しているかどうかを判断するために行われます。医師は超音波で前立腺を観察しながら、直腸から前立腺の中へ針を挿入し、小さな組織サンプルを採取します。これらは、がん細胞が存在するかどうかを決定するために顕微鏡で調べられます

PCA3検査とは何ですか？

- ▶ PROGENSA™ PCA3*検査は、前立腺がんの診断を助ける新しい遺伝子検査です
- ▶ PCA3値を決定するため、DRE実施後に尿サンプルを採取します
- ▶ PCA3は前立腺がん特有のものであり、PSAとは異なり、前立腺腫大やその他良性の前立腺の異常に影響を受けません
- ▶ PCA3値は、DRE、PSA検査に加えて、生検が必要か、延期できるかを決定するのに役立つ情報となります
- ▶ 生検で陽性であった場合、PCA3値でがんの進行性に関する情報が得られます。これは、どの治療が適切かを決定するのに役立ちます

*国内未承認

PCA3検査はどのような場合に有益ですか？

- ▶ 高いPSA値、またはその他の疑わしい臨床的所見(例えば疑わしいDREなど)があり、生検実施の決定に直面している場合
- ▶ 生検で腫瘍は見つからなかったが、前立腺がんの疑いが残っている場合
- ▶ 家族に前立腺がんの病歴がある場合
- ▶ 生検で陽性であった場合、つまりがん細胞が生検で見つかり、がんの進行性についてさらなる情報を得たい場合
- ▶ 進行性でない早期前立腺がんで、監視療法、モニタリングを行っており、がんが増殖しているかを知りたい場合



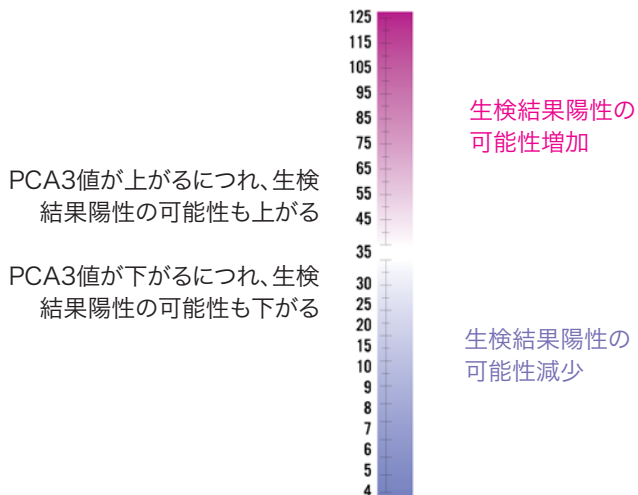
PCA3検査はどのように実施されますか？

- ▶ PCA3値は尿サンプルを用いて決定します
- ▶ 医師がDREを実施した後、尿サンプルを採取します
- ▶ サンプルは専門の検査施設で分析され、1～2週間以内で担当医にPCA3値が通知されます

PCA3値の解釈

前立腺がんの診断において

- ▶ PCA3値は生検において前立腺がんが発見される確率を示します
 - ▶ **PCA3値が高いほど**、生検で陽性の可能性が高くなります
 - ▶ **PCA3値が低いほど**、生検で陰性の可能性が高くなります
- ▶ 生検の実施を決定する際には、年齢、家族の前立腺がん病歴、DRE結果、前立腺の大きさ、PSA値などの要因も考慮されることを覚えておいてください
- ▶ あなたと担当医が生検を実施しないことを決めた場合、3～6ヶ月後にPCA3検査を再度行わなければなりません。前立腺がんがない場合、PCA3値は変化なしか、あるいは時の経過とともに若干変動があります。PCA3値が極度に上昇した場合、生検が必要となる可能性があります



前立腺がんの治療において

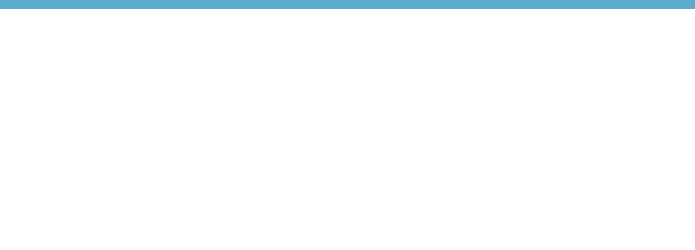
- ▶ PCA3値はがんの進行性に関する指数を表します
- ▶ **PCA3値が高ければ**、がんが進行性である可能性が高く、外科手術や放射線療法のような積極的な治療を必要とします
- ▶ 進行性でない早期前立腺がん、監視療法、モニタリングを行っている場合、PCA3検査は3～6ヶ月おきに行われます。PCA3値の極度な上昇は、がんが増殖していることを示します

そのほかにPCA3検査に関する質問はありますか？



もっと詳しく知りたい場合はこちらへお願いいたします：
www.pca3.org/public/ja/questions

下記へご連絡いただくことも可能です：



このパンフレットは、PCA3編集委員会の協力の下、www.pca3.orgを制作・運用するIsmar Healthcare社により作成されました。